

令和2年度(2020年度)

決算のあらまし

令和2年度の各会計決算がまとまり、9月の市議会定例会に提案し、認定されました。

一般会計

市の財政の柱となる一般会計の2年度決算額は、歳入が1661億4797万円、歳出が1639億3005万円で、歳入歳出差引額は22億1792万円となりました。

これから3年度へ繰り越す1億9750万円を差し引いた実質収支額は、20億2042万円の黒字となりました。

2年度決算の主な事業

新型コロナウイルス感染症対策として、感染拡大防止のため、小・中・高等学校や幼稚園、避難所などで、消毒液等の購入を行ったほか、PCR検査機器の増設や、新型コロナウイルススワクチン接種体制の確保を行ったことに加え、「新しい生活様式」普及協力支援金の給付や、プレミアム付商品券・グルメクーポンの発行など、市民生活および事業者等への支援などに努めました。

子どもやひとり親家庭等の

表1 令和2年度 一般・特別会計決算

(単位：万円)

会計別	収入済額(A)	支出済額(B)	差引額(A)-(B)=(C)	翌年度へ繰り越すべき財源(D)	実収支額(C)-(D)
一般会計	1,661億4,797	1,639億3,005	22億1,792	1億9,750	20億2,042
港湾事業	33億1,205	32億7,886	3,319	9	3,310
国民健康保険事業	291億2,121	284億7,608	6億4,513		6億4,513
自転車競走事業	120億1,759	119億9,742	2,017		2,017
特別会計					
奨学資金	2,964	2,855	109		109
地方卸売市場事業	4億564	3億9,685	879		879
介護保険事業	310億6,627	302億2,882	8億3,745		8億3,745
発電事業	476	400	76		76
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	2億5,176	7,617	1億7,559		1億7,559
後期高齢者医療事業	44億6,490	43億8,242	8,248		8,248
小計	806億7,382	788億6,917	18億465	9	18億456
合計	2,468億2,179	2,427億9,922	40億2,257	1億9,759	38億2,498

医療費助成のために、入院費および3歳未満と非課税世帯の子どもの通院費を無料としました。

また、企業の生産性向上のため、IoT設備導入を支援し、ロボット活用の調査研究

に取り組んだほか、庁内においてはRPAの一部導入など行政事務のAI・ICT化に取り組みました。

また、文化財の保存整備のため、世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」

の垣ノ島遺跡を整備したほか、旧函館区公会堂や五稜郭跡の保存修理に取り組みました。

スポーツ振興のため、市民スケート場の3年12月の営業開始に向け、冷凍設備等を改修したほか、交通拠点として、美原地区路線バス乗降場の整備を行い、快適で魅力あるまちづくりの推進に努めました。

今後の行財政運営

人口減少や少子高齢化、新型コロナウイルス感染症の影響による市税等収入の減少など、今後においても厳しい状況が想定されますことから、引き続き行財政対策を推し進め、持続可能で安定した行財政運営の確立を目指します。

特別会計

特別会計は、特定の収入を財源として事業を行うもので、一般会計から区分して収支経理を行っています。

2年度決算は、表1のとおり、全特別会計で黒字となっています。

なお、港湾事業特別会計では、港湾環境向上のため、未広地区緑地の整備や、港湾機能向上のため、中央ふ頭地区

上屋の整備を実施しました。

企業会計

企業会計は、独立採算制をとっており、経済性を発揮するとともに公共の福祉を増進するよう努めています。

2年度決算は、表2のとおりです。

なお、企業会計には、一般会計からの繰入金49億6914万円が支出されています。

都市基盤の整備

市では厳しい財政状況のなかでも、都市基盤の整備に力を注いでいます。

2年度末では下水道普及率90・8%（前年比0・1ポイント増）、道路舗装率76・8%（前年比0・1ポイント増）となっています。

◎詳しい内容は市のHPに掲載しています。

お問合せ 財政課

☎21・3527

※ 水道・公共下水道・交通

事業は企業局管理部長課

☎27・8721、病院

事業は病院局管理部長課

☎43・2000へ。

1年間に市民1人当たりが負担する
市税の金額

126,442円

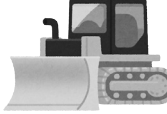
市民1人当たりの決算額

民生費


福祉の充実などに

216,330円


土木費

道路や公園の整備などに

36,624円


商工費

経済・観光振興などに

44,442円

教育費

学校施設の整備などに

39,531円

衛生費

清掃事業や保健対策などに

37,591円

総務費

企画調整や税務、地域活動、防災活動、大学の運営などに

125,083円

消防費

消防施設の整備などに


3,132円

公債費

借入金の返済などに

47,553円

職員費

職員の給与などに

65,797円

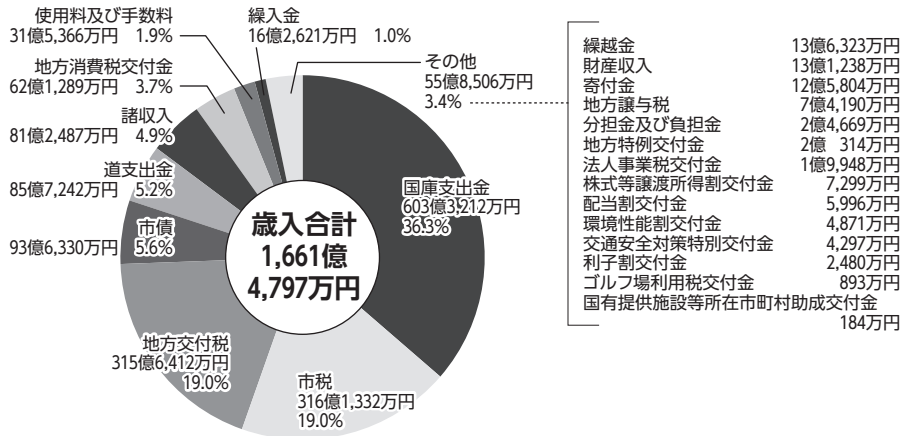
その他

議会費、労働費、農林水産費、諸支出金

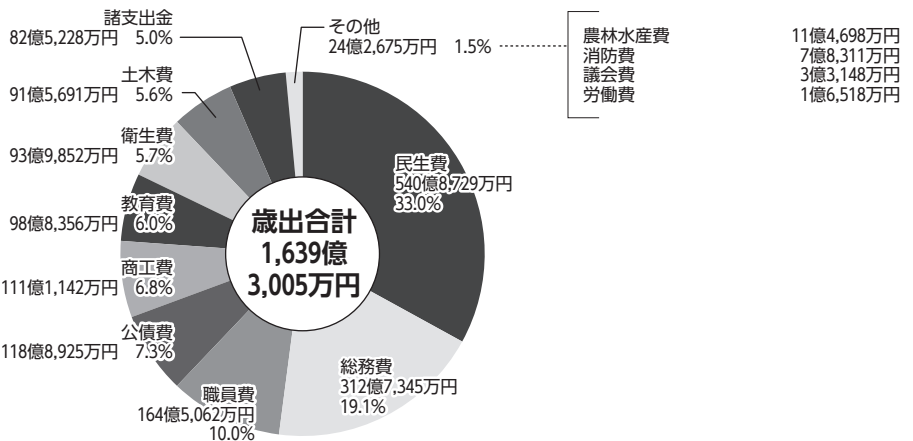
39,580円

※金額は、一般会計の決算額を令和3年3月31日現在の人口25万22人で割ったものです。

令和2年度 一般会計決算内訳



- 繰越金 13億6,323万円
- 財産収入 13億1,238万円
- 寄付金 12億5,804万円
- 地方譲与税 7億4,190万円
- 分担金及び負担金 2億4,669万円
- 地方特別交付金 2億 314万円
- 法人事業税交付金 1億9,948万円
- 株式等譲渡所得割交付金 7,299万円
- 配当割交付金 5,996万円
- 環境性能割交付金 4,871万円
- 交通安全対策特別交付金 4,297万円
- 利子割交付金 2,480万円
- ゴルフ場利用税交付金 893万円
- 国有提供施設等所在市町村助成交付金 184万円



- 農林水産費 11億4,698万円
- 消防費 7億8,311万円
- 議会費 3億3,148万円
- 労働費 1億6,518万円

表2 令和2年度 公営企業会計決算

(単位：万円)

会計区分	収益的収支	資本的収支	純利益 純損失	資金不足額 (注)	一般会計から の繰入金	
水道事業	収入	48億7,393	20億2,474	2億2,779	△33億1,782	9,803
	支出	44億2,499	37億7,269			
公共下水道事業	収入	79億5,656	35億2,459	10億4,128	△21億4,381	18億7,085
	支出	68億 141	61億3,822			
交通事業	収入	10億9,671	3億8,128	△3億9,498	△1億7,878	3億6,955
	支出	14億5,529	5億5,244			
病院事業	収入	237億1,027	13億2,583	26億7,536	13億1,296	26億3,071
	支出	210億 236	21億6,694			
合計	収入	376億3,747	72億5,644	35億4,945	△43億2,745	49億6,914
	支出	336億8,405	126億3,029			

(注) 財政健全化法に基づく資金不足額を表示しております。

HP

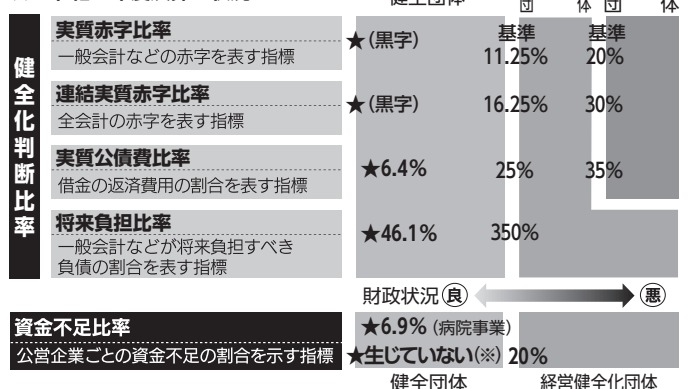
健全化判断比率および資金不足比率の公表

お問合せ 財政課 ☎21-3528

財政健全化法により、各指標が基準を超えた場合、議会の議決を経て財政健全化計画を策定し、改善に取り組むこととなっています。2年度決算での指標の状況は、右図のとおりです。詳細は市のHPに掲載しています。
健全化判断比率 全ての指標で基準を下回っています。
資金不足比率 病院事業で資金不足が生じていますが、全ての会計で基準を下回っています。

いずれの指標も基準未満となっていますが、今後においては、人口減少などの厳しい状況が想定されますことから、各指標に留意し、財政運営を行ってまいります。

★…令和2年度決算の状況



※ 水道、公共下水道、交通、地方卸売市場、発電の各事業